組立・施工説明書 エコ内窓 プラマードU 引違い窓 PUH-2

このたびは、YKK AP商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

変更 **クレセント受カバーを追加しました。**
クレセント受調整時は、一旦、取りはずしてください。

本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

注　意

- 反り、変形等防止のため、直射日光に当てた状態で放置したり、高温にならないようにしてください。
- 樹脂は割れたり、傷ついたりしやすいため、乱暴に扱わないでください。
- 樹脂をハンマー等で直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
- 保管・輸送の際は、直接荷重がかからないようご配慮ください。
- 清掃が必要な場合は、中性洗剤溶液を使用し、有機溶剤のご使用は避けてください。

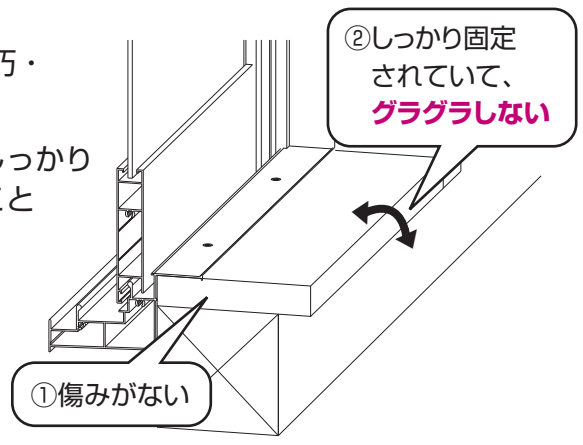
お願い

- 商品を正しく組立・施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。
- 商品の組立・施工については必ず本説明書に従ってください。
- 商品の組立・取付の際は所定のねじを使用して適正なトルクで締め付けてください。
  また、ねじを締めすぎると樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
- 取付開口部の水平・垂直、対角寸法およびねじれのないことを確認してください。
  取付開口部の精度が悪いと商品本来の機能を発揮させることができません。
- 施工完了後、説明書の調整方法通り、調整が行われていることを確認してください。
  調整不良は操作不良や異常音の原因になります。
- 取扱説明書・使い方&お手入れガイドブックを施主様にお渡しください。

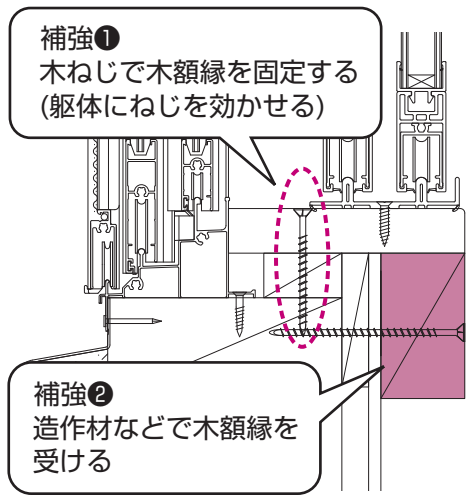
施工前に確認してください

本商品の障子最大重量は約45kgです。
取付面の木額縁が商品重量を支えられる事を確認してください。
支えられない場合、**障子脱落の可能性があるため、**木額縁を木ねじや造作材などで補強してください。

【確認項目】
①木額縁に傷み(腐朽・割れ)がないこと
②木額縁が窓台にしっかり固定されていること



補強例



チェックシート

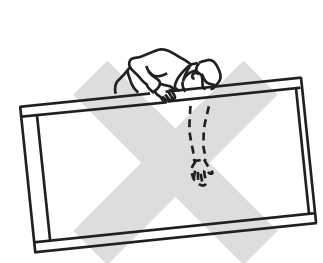
組立・取付時、下記項目の確認をしてください。

	項　目	チェック欄
❶	トルク調整をしましたか？	
❷	ねじれ・倒れがないことを確認しましたか？	
❸	内障子がはずれないことを確認しましたか？	

障子の取扱いとお願い

たて框をしっかり支えてください。

片側の框のみを持つと、重みで框が抜けるおそれがあります。



片側を支点にして、たて框を持ち上げないでください。

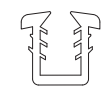
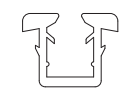
横にして、たて框片側のみを持たないでください。

注　意

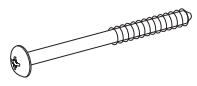
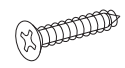
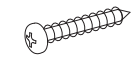
組立・取付時、電動ドライバー・エアードライバー使用の際は、締め付けトルクは以下を目安に設定してください。
障子：**2.0～2.5N・m（20～25kgf・cm）**程度
樹脂枠：**1.0～1.5N・m（10～15kgf・cm）**程度

チェック❶

ガスケット一覧

使用ガラス厚	3mm	4mm	5mm	6mm
姿　図				
品　番	**3K-21063**	**3K-21064**	**K-20358**	**2K-23671**

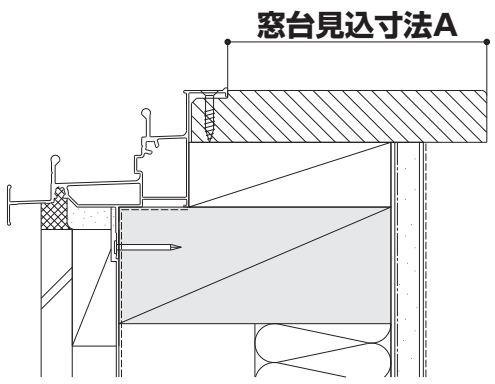
同梱包部品一覧

番　号	①	②	③	④	⑤	⑥
姿　図						
品　名	小トラスタッピンねじ2種（φ4×45）	穴塞ぎキャップ	皿木ねじ（φ3.5×20）	はずれ止め	はずれ止めライナー	丸木ねじ（φ3.8×25）
品　番	**BM-4045N**	**K-38558**	**WF-3520**	**2K-36844**	**2K-48728**	**WR-3825**
個　数	8～32	12～30	12～66	1～4	2～8	1～4
使用箇所	障子組立用	障子組立用	枠取付用			はずれ止め取付用

1.開口部の確認

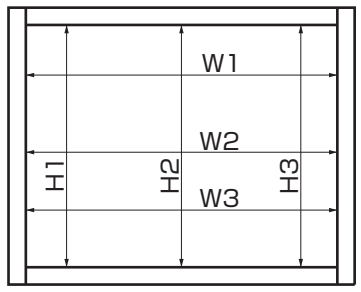
2ページ

①**窓台見込寸法Aは最低73㎜必要**です。これより小さい場合は、ふかし枠を使用してください。

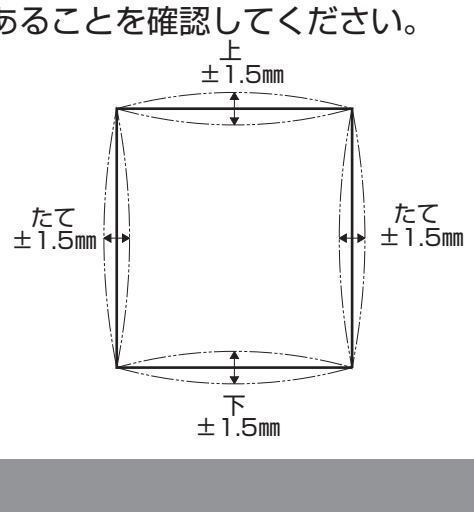


外窓のクレセントが内窓にあたらないように取付けてください。
（クレセントの回転軌跡や、外窓の内召合せ框の見込寸法によっては、窓台必要寸法が変わります。）

②H1～H3およびW1～W3の最低3ケ所を採寸し、**最小寸法をW、H寸法**としてください。



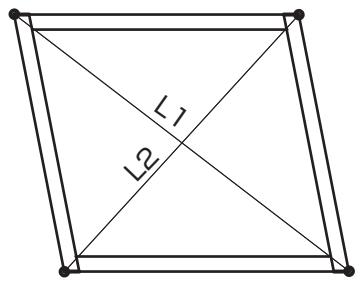
●上下左右のたわみが図に示す範囲内であることを確認してください。



ポイント

- ●施工時にすき間がある場合は、シーリング材で塞いでください。
- ●開口部のたわみ量が範囲を超えている場合は、枠との間にスペーサを入れて調整してください。その際、できたすき間は、シーリング材で塞いでください。

●枠の**対角差が3㎜以内**であることを確認してください。



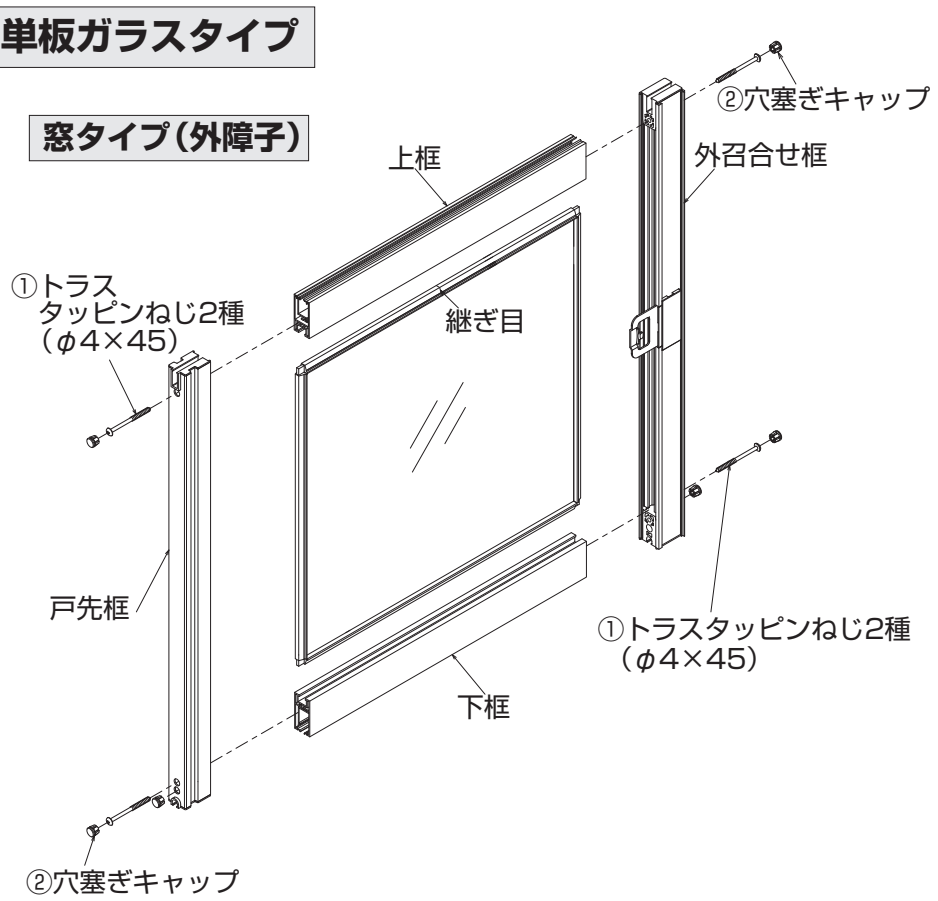
L1−L2=Ⓐ

Ⓐ
3

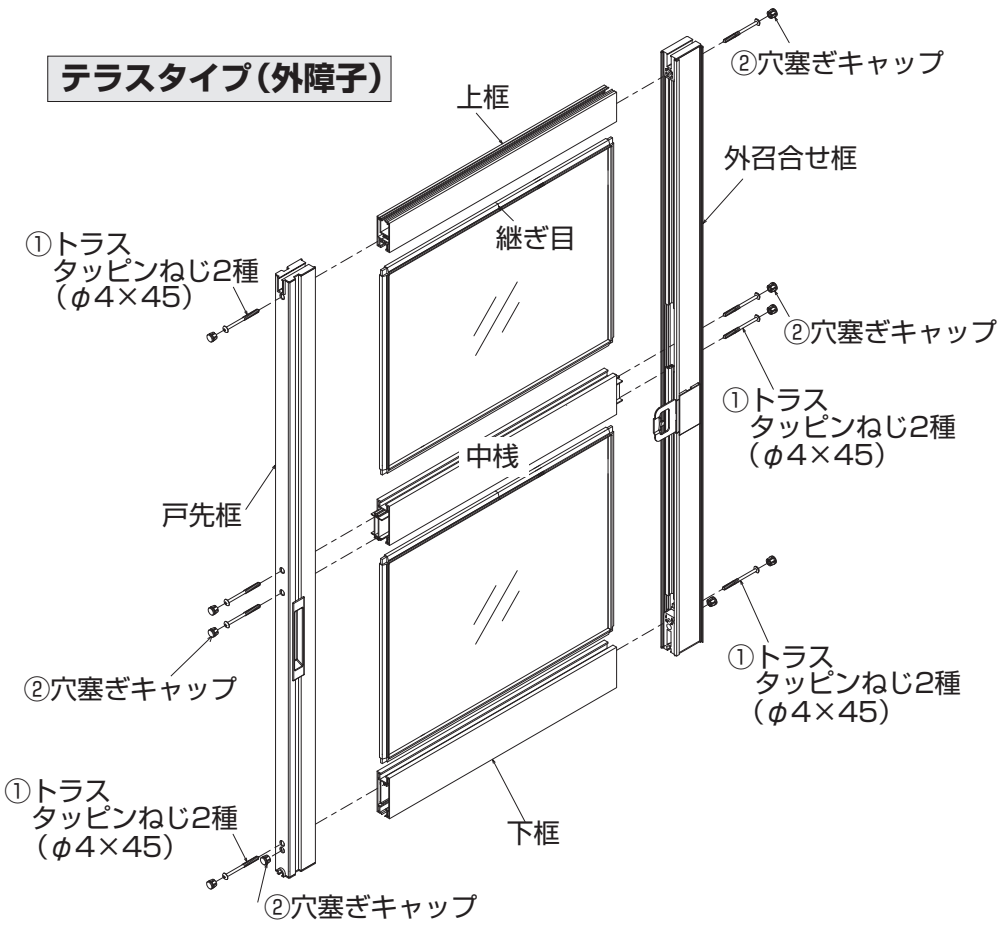
2.障子の組立

■単板ガラスタイプ

窓タイプ（外障子）

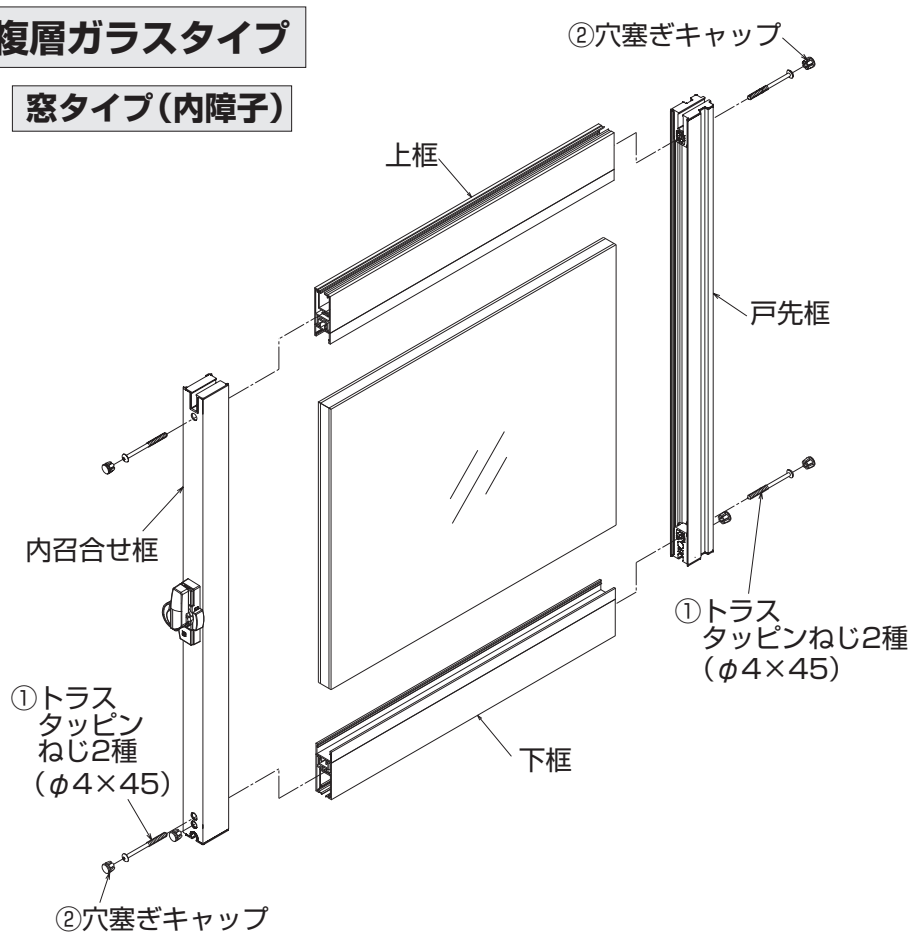


テラスタイプ（外障子）

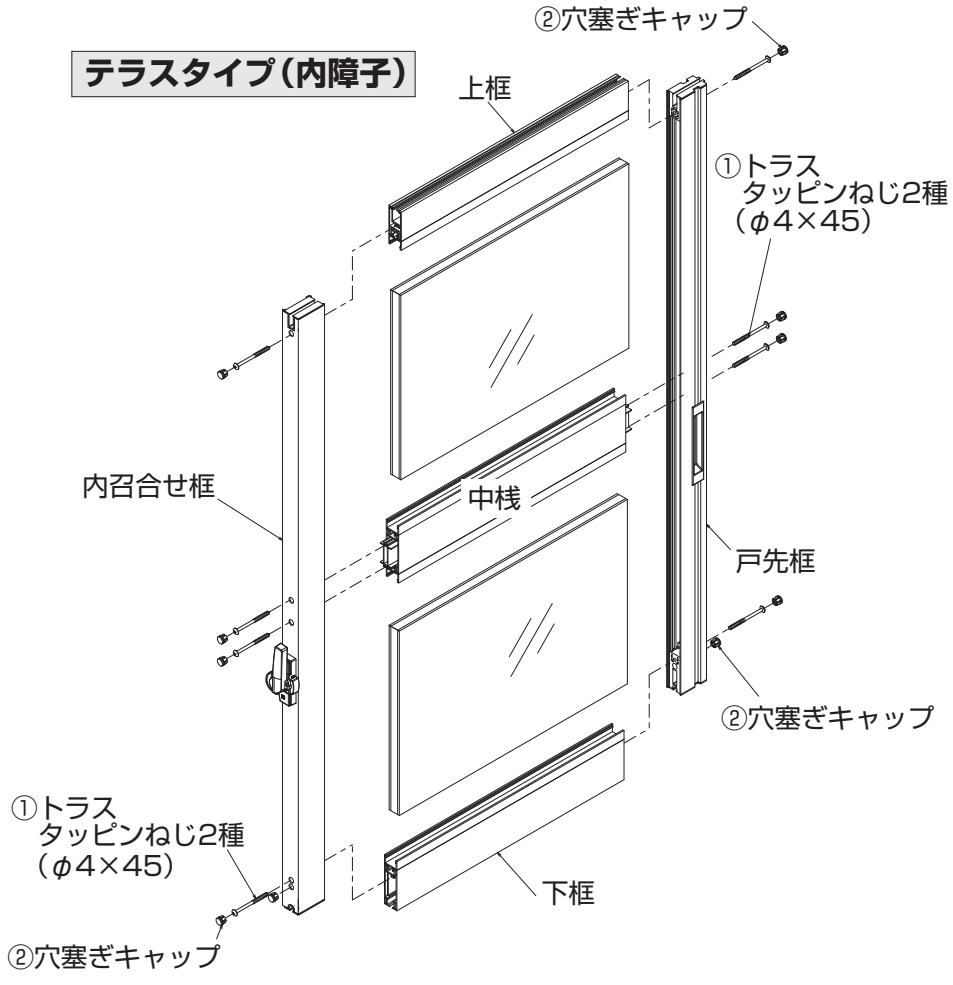


■複層ガラスタイプ

窓タイプ（内障子）



テラスタイプ（内障子）



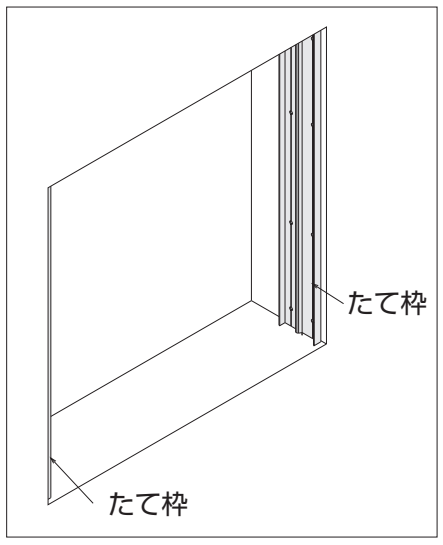
3.枠の取付

注　意

サッシ取付時、ねじれ・倒れがないことを確認してください。 チェック❷

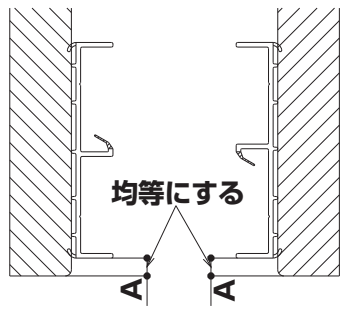
1.たて枠の取付

1 たて枠を開口部に取付けてください。
2 たて枠をねじ止めしてください。



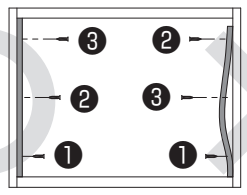
ポイント

たて枠の位置は窓枠室内側からの寸**法Aが均等**になるようにしてください。



注　意

中間部がたわまないように端部から順番にねじで固定してください。

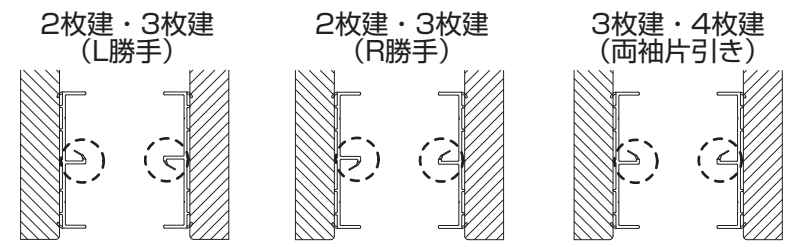


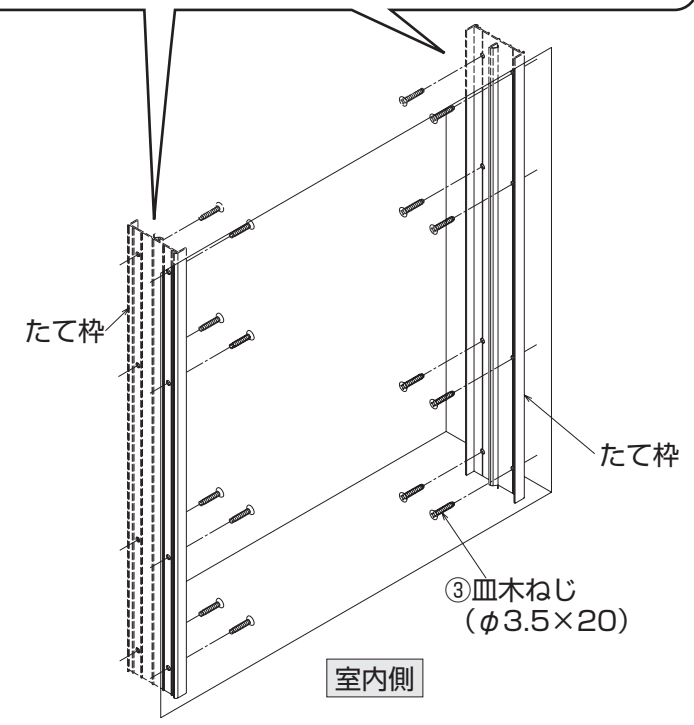
中間部がたわんだままねじで固定すると、枠が波打つ原因となります。

ポイント

W＝1000以下の場合は、上下枠をたわませにくいので、次ページの施工方法を参照してください。

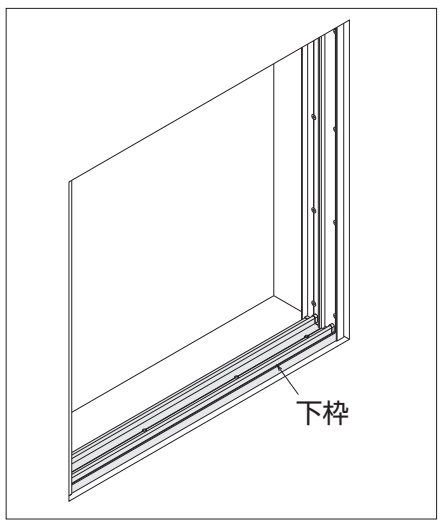
ヒレの向きに注意

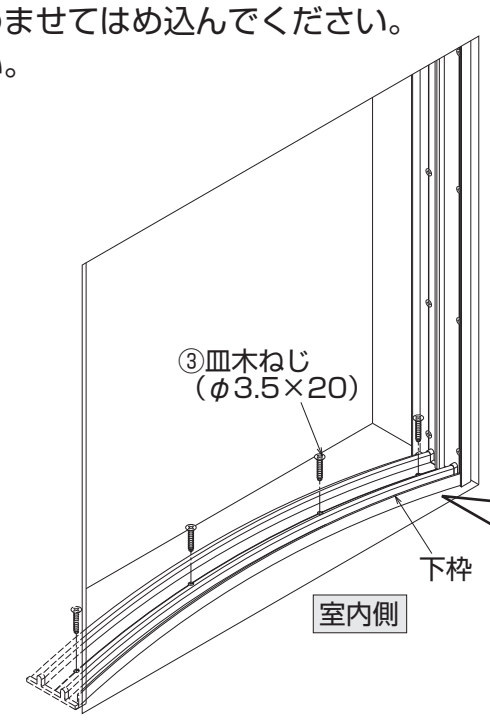


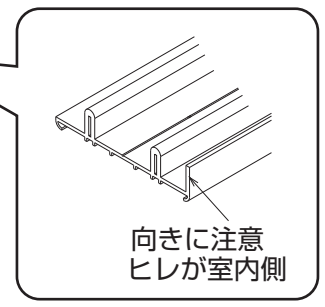


2.下枠の取付

1 下枠を図のように内側にたわませてはめ込んでください。
2 下枠をねじ止めしてください。

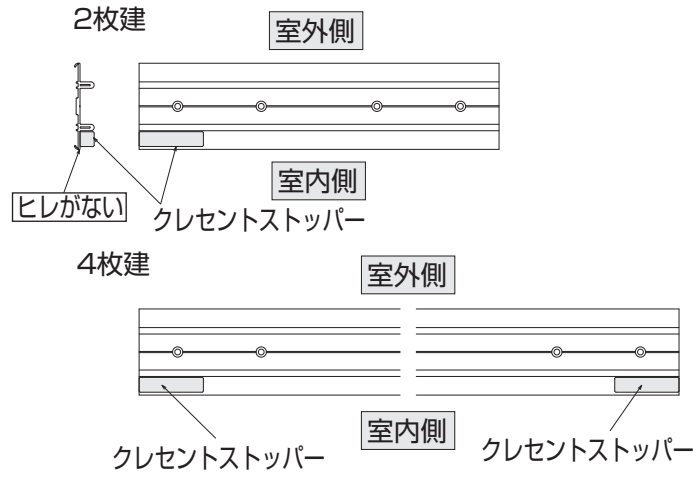






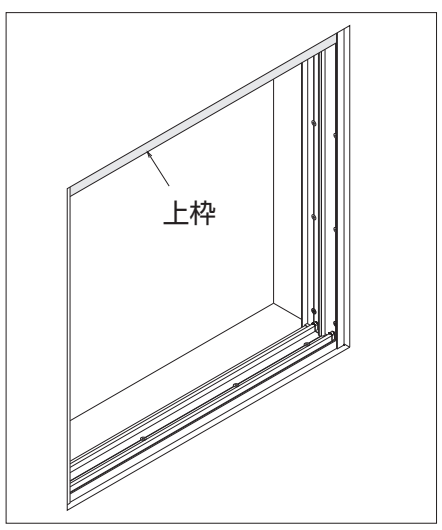
間仕切下枠仕様の場合

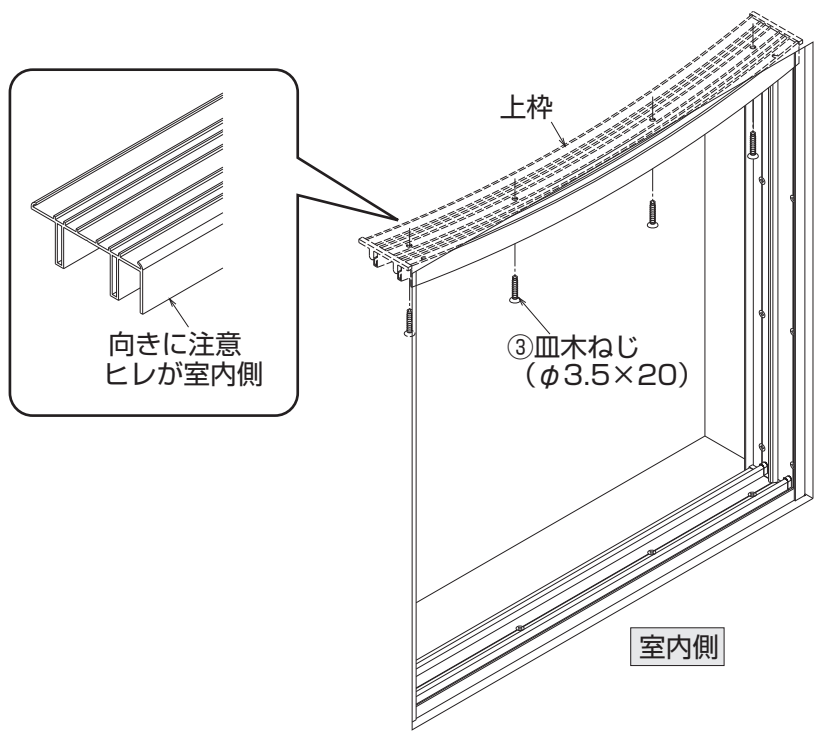
- 250≦H＜332は、間仕切下枠仕様のみになります。
  (上記以外のHサイズは、標準枠仕様と間仕切下枠仕様の両方があります。)
- クレセントストッパーの取付位置を確認し、下枠をはめ込み、ねじ止めしてください。
  (窓タイプにクレセントストッパーは取付かないので向きはありません。)



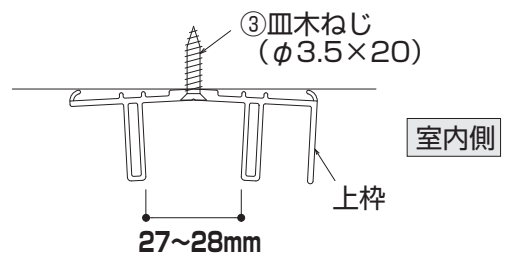
3.上枠の取付

1 上枠を図のように内側にたわませてはめ込んでください。
2 上枠をねじ止めしてください。





3 上枠レール先端を測り、27～28mmになっていることを確認してください。



ポイント

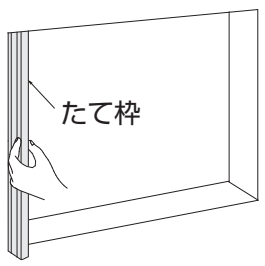
レール先端が27mm未満の場合は、ねじを少しゆるめて27～28mmになるようにしてください。

3.枠の取付(W＝1000以下の場合)

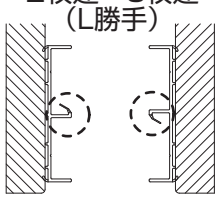
4ページ

枠の向きは前ページを参照し、注意して取付けてください。

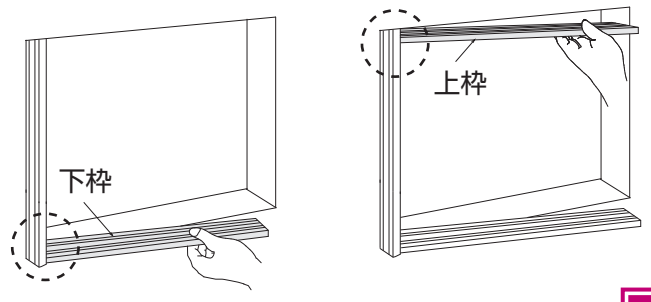
1片側のたて枠を半分程うめ込んでください。



ヒレの向きに注意
前ページを参照してください。



2上下枠を片側のみ差込んでください。



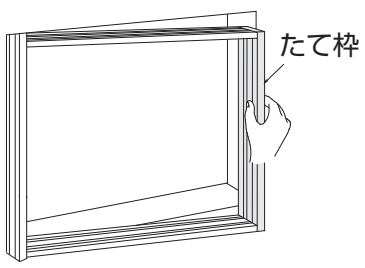
ポイント

四方枠を徐々に押込んでください。

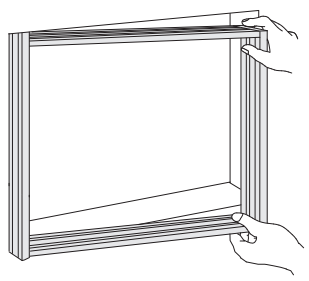
注　意

サッシ取付時、ねじれ・倒れがないことを確認してください。

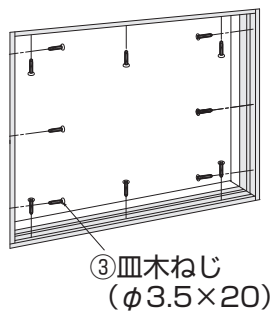
3たて枠をそえてください。



4開口部に押込んでください。

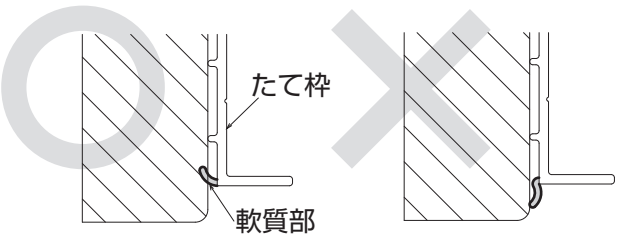


5ねじで固定してください。



注　意

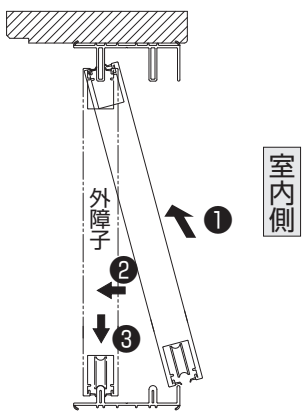
形材の軟質をきちんと巻込んでいるか確認してください。

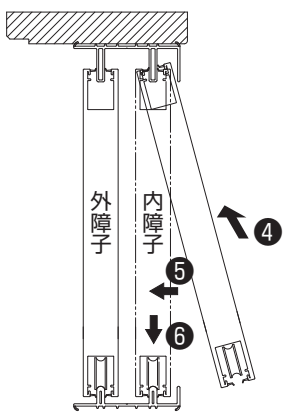


4.障子の吊込み　5.調整

電動ドライバー使用禁止

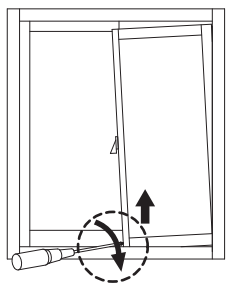
室内側より、外障子、内障子の順に枠に吊込んでください。





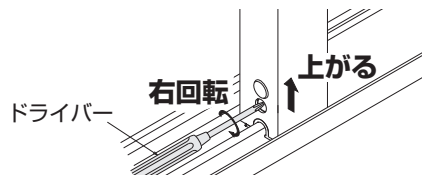
■戸車の調整

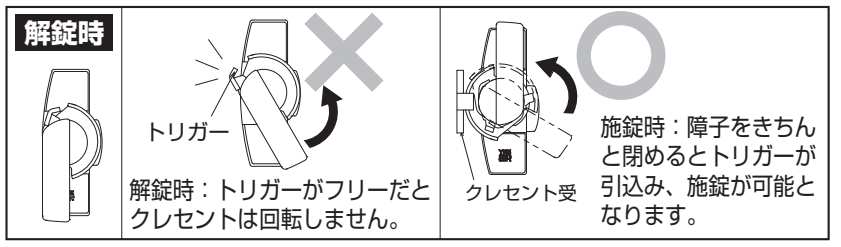
建付調整は、戸車の高さを調整することで行えます。
右回転(時計方向)…上がる



ポイント

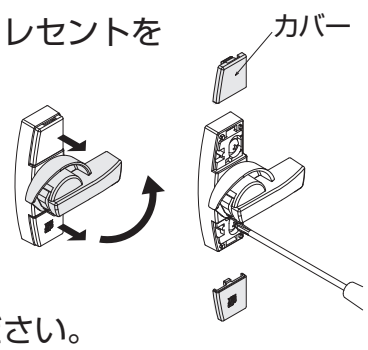
出荷時、障子は下がった状態にしてあります。
それ以上は下がりません。
開閉操作が重い場合、戸車を調整してください。





■クレセントの調整

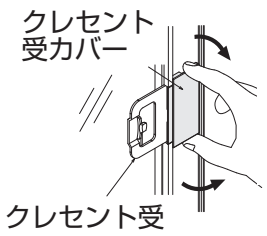
1トリガーを指で押さえながらクレセントを中間位置まで回してください。
2クレセントの上下カバーをはずしてください。
3ねじをゆるめ、上下に動かして調整してください。
4調整後、必ずねじを締めてカバーを元の位置に戻してください。



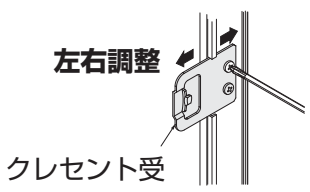
■クレセント受の調整

変更

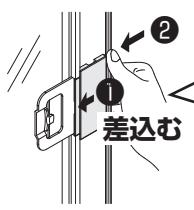
1クレセント受カバーをはずしてください。



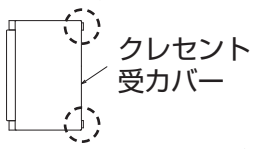
2ねじをゆるめ、左右に動かし、調整してください。
3調整後、必ずねじを締めてください。



4クレセント受カバーを取付けてください。



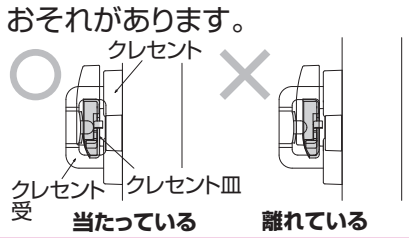
ポイント



クレセント受カバー側面上下にある突起部を**側面から**押込んでください。

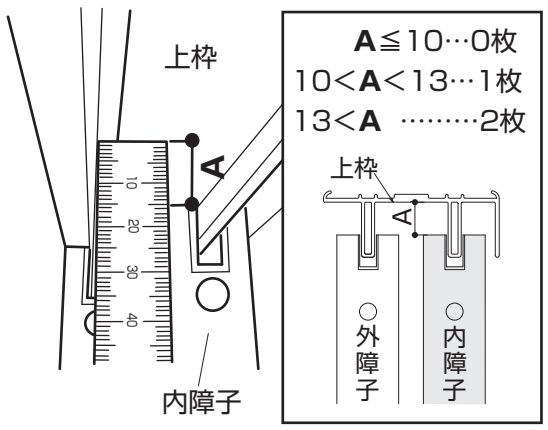
注　意

クレセント施錠時に、クレセントの皿とクレセント受がしっかりと当たるように調整してください。
離れている場合、性能低下のおそれがあります。

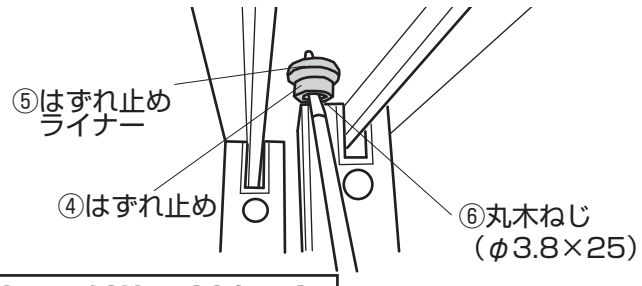


6.はずれ止めの取付

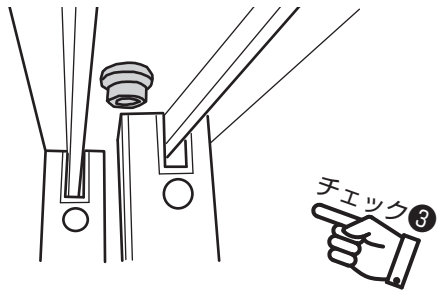
1上枠と内障子上端とのチリを測定してください。チリに応じて、はずれ止めライナーの枚数を変えてください。



2はずれ止めを取付けてください。



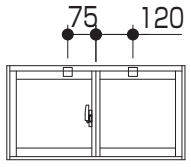
3開閉確認、内障子がはずれないことを確認してください。



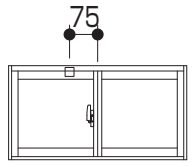
はずれ止め取付位置(内観図)

窓タイプ(2枚建)

W<707

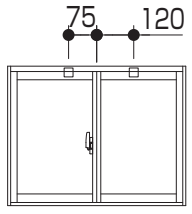


707≦W

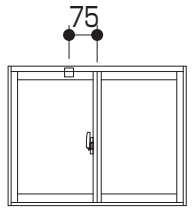


テラス・ランマ通しタイプ(2枚建)

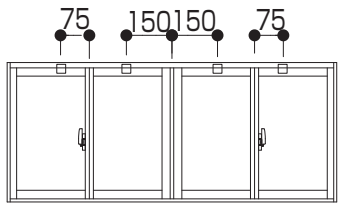
W<1482



1482≦W



全サイズ(4枚建)



YKK AP株式会社

Printed in Japan

No. XAAAA-K02-586B8 Y